



凡 事 徹 底

当たり前のことを当たり前

蕨市立第二中学校
学校だより
令和6年度
第5号(9月号)



2学期のスタートに当たり

校長 椿 智絵

長いと思っていた夏休みもあっという間に終わり、2学期が始まりました。夏休みの前半には、各学年とも三者面談を実施し(1・2年生はオンラインで行いました)、生徒の頑張りとかれからの課題などを保護者の皆さんと共有することができたのではないかと思います。お忙しいところお時間を作っていただきありがとうございます。

また、同時期に学校総合体育大会県大会も行われており、多くの部活動の応援に行くことができました。県大会という大舞台で自分の力を発揮しようと頑張る姿や、最後まで諦めずに仲間と勝利に向けて頑張る姿に感動しました。1、2年生や応援に駆けつけてくれていた大勢の保護者の皆さんもその姿に感動していたのではないかと思います。

さて、2学期がスタートしましたが、お子様の様子はいかがでしょうか。久しぶりの登校に不安を感じている人もいるかもしれません。進路、友人関係の悩みを抱えている人もいるかもしれません。お子様に気になる様子が見られましたら、遠慮なく学校にご相談ください。お子様が、笑顔で学校生活をおくれるように、今後も学校と家庭で協力していきたいと思っています。2学期もよろしくお願いします。

ところで、この夏はオリンピックイヤーで、各種目の熱戦に応援にも熱が入りました。3年前の東京オリンピックでも、たくさん感動する場面や種目がありましたが、中でも私は女子バスケットボールの銀メダル獲得が特に印象に残っています。日本のバスケットボールは、これまで世界から遅れをとっていました。日本人は世界と比べると身長が低く、高さが武器となるバスケットボールでは、どうしても不利になります。誰もが日本が勝ち進むことを予想

していなかった中、準決勝のベルギー戦では林咲希選手が劇的 3 ポイントシュートを決め逆転勝利を収めたり、身長 162cmとバスケットボール選手の中ではひととき小柄な町田瑠偉選手が計 75 アシストでアシスト王となりオリンピックベスト5に選出されたりするなど活躍し、見事銀メダルを獲得しました。

パリオリンピックでもその活躍が期待されていました。大会前選手たちは口々に「目標は金メダル」と言っていました。前回大会の銀メダルがあるので、今回こそはという思いもあったことでしょう。優勝に向けての厳しい練習にもチーム一丸となって取り組み、自信もつけていたことでしょう。大きな期待を背負ってのオリンピックの舞台だったと思います。結果は、予選リーグ3戦中3敗で残念ながら予選敗退となってしまいました。

強化試合では3点シュートが次から次に決まり、大差で勝っていたので、オリンピック本番で何で3点シュートが入らないのだろう、さすがにもう少し入ってもいいのではないかなと思って見ていました。東京オリンピックの日本の戦い方を他のチームは研究し、3点シュートを打たせないようにしっかり守り切ったからかもしれません。

予選敗退が決まり、選手たちの目には涙があふれていました。思っていた結果に結びつかなかったからだと思います。結果は目標に届きませんでした。でも、それでも私は一生懸命、最後まであきらめずに、全力でプレーしていた選手たちに頑張る姿を見せてくれてありがとうございました。

このようにスポーツは私たちに感動や勇気の他、たくさんのことを教えてください。本気で一生懸命な姿はカッコいいですね。2学期の体育祭等、様々な場面における二中生の本気で一生懸命な姿、団結の力に期待します。

《学校教育目標》

自ら学び、深く考える生徒	(知)
心豊かで、思いやりのある生徒	(徳)
たくましく、健やかな生徒	(体)

蕨市立第二中学校

電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671

URL：<http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/>

e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp